

女性のギャンブル依存症者のためのリハビリセンター

(ぬじゅみ)

特定非営利活動法人 **ヌジュミ**

4周年記念セミナー

テーマ：「大丈夫、あなたも

きっとやめられる！」



女性も治療が
必要です！

東日本大震災で被災された皆様へ、一日にも早い復興を心からお祈り申し上げます。

「やめたいけどやめられない、世間に知られたら・意志とか根性で治せ」と言われても一人ではやめられなかった。私たちは「私も同じような経験をしました」と伝えています。恥ずかしいけどヌジュミに連絡して良かったと多くの方が言ってくれます。あなたの周りにいたら、連絡ください。きっとお役に立ちます。横浜市保土ヶ谷区のマンションのワンルームで始まったヌジュミも満4年になりました。「ご家族と本人」とゲストをお迎えして「パネルディスカッション」を開きます。「女性」・「依存症」・「病気からの回復」などについてゲストの話聞いてください。

【日時】：2011年6月5日（日）10：00～15：30

【会場】：横浜市総合保健医療センター 4F 講堂 横浜市港北区鳥山町1735番地

【交通】：JR・市営地下鉄「新横浜駅」から徒歩10分

新横浜駅バスターミナル5番ポールから、

市営バス300系統「仲町台行き」バスで「浜鳥橋」バス停下車徒歩1分

<プログラム>

9：30 **開演**

10：00 **開会** ごあいさつ

10：10 本人の体験談

11：10 家族の体験談

11：30 女性の仲間への質疑応答

11：50 ヌジュミからのお願い

12：00 休憩

13：00 **シンポジウム**

田辺等さん（北海道精神保健福祉センター所長 精神科医）

上岡陽江さん（ダルク女性ハウス代表）

野本律子さん（Saya-Saya 相談室 共同代表）

村田由夫さん（NPO 法人 寿アルク理事長）

司会：佐藤拓さん（横浜市こころの健康相談センター・現職）

14：45 講師と質疑応答

15：20 ヌジュミからのお知らせ **閉会**

【お問い合わせ】ヌジュミ

【電話番号】045-743-5854 【携帯電話】080-6611-7526

【住所】横浜市保土ヶ谷区（女性のセンターにより非公開です）最寄の駅は JR 保土ヶ谷駅東口

主催：NPO法人ヌジュミ

協力：ヌジュミを支える会

助成：

ゲスト紹介

田辺等 (たなべ ひとし)

1951年生まれ、77年北海道大学医学部卒業。

アルコール、薬物、ギャンブルなど、嗜癖問題の相談と治療に取り組む。

著書に「ギャンブル依存症」新生活人新書「NHK出版」、「心
病む人への理解」(共著)、「精神保健相談の進め方Q&A」ほか

佐藤 拓 (さとう たく)

1999年川崎医科大学卒業 2006年北里大学大学院 医
療系研究科 修了※大学院では、ラット脳の神経伝達物質を
測定する実験を行っていた。厚生労働省 社会・援護局 障
害保健福祉部 精神・障害保健課 勤務を経て横浜市こころ
の健康相談センター(現職) 勤務。

主な論文:「いわゆるギャンブル依存、こころの科学, 139
号; 36-40, 2008」、佐藤拓, 宮岡等:病的ギャンプリ
ング(いわゆるギャンブル依存)の概念とその回復支援につ
いて, 精神科治療学, 25; 615-619, 2010、佐藤拓,
宮岡等:病的ギャンプリング(いわゆるギャンブル依存)の
回復支援, 精神科治療学, 25(増刊); 240-241, 2010

上岡陽江 (かみおか はるえ)

1957年生まれ、精神保健福祉士。

薬物・アルコール依存、摂食障害からの回復者であり、回復
プログラムを実践しつづけている。施設の資金繰りに日々悩
みつつ、仲間とともに運営に奮闘をつづける。エレファン
ト・カシマシの熱狂的ファンだが、最近ライブチケットがと
れない。

著書に「虐待という迷宮」(共著 信田さよ子・シャナキャ
ンベル 春秋社)

「その後の不自由」(共著 大嶋栄子 医学書院)

野本律子 (のもと りつこ)

公立の児童館に25年勤務の後、家族機能研究所(さいとう
クリニック)にカウンセラーとして勤務。その間、市民グル
ープの女性たちとDVシェルターを立ち上げ(1993年AK
K女性シェルターのちAWSシェルター)代表をボランティ
アとして務める。2001年に地域支援ネットワーク「女性
ネットSay a-Say a」、就労支援のためのレストラン
Say a-Say a相談室Say a-Say aの共同代表
として暴力被害女性の支援活動に関わる。

村田 由夫 (むらた よしお)

‘43年4月2日川崎は大師の生まれ。小さい頃は、メダカ、ドジョウ、ザリガニ、トンボ取りに明け暮れる。無類のバ
イク好きで最近まで乗っていた。‘68年、社会福祉法人 神奈川県匡済会 寿福祉センター(保育所・診療所・相談所)に相
談員として勤務、日雇労働者とその家族の住む寿地区「簡易宿泊所街」で相談活動、地域活動に取組む。‘88年、寿福祉セン
ター所長となり現在に至る。‘77年、アルコール依存症とその回復の方法でもある「AA」およびアルコール依存症の回復の
ためのデイ・ケア・センター「三ノ輪MAC」と出会う。‘83年、横浜マック後援会発足に参加 事務局長として運営資金確
保に関わる。‘88年、第1回アディクションセミナー in YOKOHAMA開催。以来、実行委員会事務局として関わり現在
に至る。‘06年、NPO法人 市民の会 寿アルク発足 理事長となる。著書に『良くしようとするのはやめたほうがよい』
(‘92年) 発行:寿青年連絡会議清算事業団・まめの木学校を育てる会

*入場は無料ですが、財政困難なため、
ぜひともカンパをお願いします!

<会場からの注意>! 守ってください!

- (1) 講堂での食べ物(お菓子・お弁当等)の
持ち込み、飲食はできません。
- (2) 建物での喫煙はご遠慮ください。
- (3) お車での来所はご遠慮ください。
- (4) ゴミはすべてお持ち帰りください。
- (5) 敷地内では禁煙です。
- (6) センター内と周辺にはコンビニもレストラ
ンもありません。各自で持参してください。

